

校長室だより

令和5年6月8日



みずか りっ 自らを律する

「わかっているけどできない」ということが私たちにはよくあります。例えば、「毎日△時間以上家庭学習すること」が自分の中で一つの目安になっているとします。でも、△時間以上家庭学習をするべきとわかっている、なかなかできない、という人が多いのではないのでしょうか。

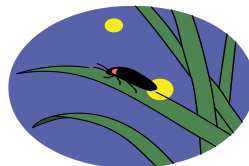
人は、ついつい楽な方へと流れてしまいがちで、大変なこと、苦しいこと、つまらないことはなかなかやる気にならないものです。しかし、そんなときでも気持ちを切り替えて、大変なことでもつまらないことでも、きちんとやっていくことを「自らを律する」といいます。「自律(じりつ)心」ということもあります。「律」は「きまり」という意味です。

「自律」とは、他の人から言われるのではなく、自分で自分の決めた「きまり」に従って行動することをいいます。自分で△時間の家庭学習をしようと決めたら、その「きまり」を自分で自分に守らせることが「自律」です。

どんなに素晴らしい目標を立てても、立派な言葉を知っていても、それが実行できなくてはあまり意味がありません。言葉や目標も大切ですが、自分で自分を律して実行していくことはもっと大事ということですね。

みなさんがよく知っている、ケンタッキー・フライドチキンの創設者カーネルサンダースという人の話を紹介します。カーネルサンダースさんは、別の事業に失敗して、65歳を過ぎてから一人でケンタッキー・フライドチキンのレストランに売り込み始めます。ところが、どのレストランにも断られ、その数は1009件だったそうです。それでも決してあきらめず、売り込みを続け、ついに事業に成功します。成功の理由を問われたとき、カーネルサンダースさんは、「二つのルールを守ってきただけ」と言ったそうです。それは、「できることはすべてやる」と「やるなら最善を尽くす」というルールです。もちろん、このルールがあったからというだけで成功したわけではありませんが、自分で自分にこのルールを守らせた=自分で自分を律したことが、目標を実現するための粘り強さを支え、成功に結びついたのです。

みなさんも「自分で決めたルールを自分で自分に守らせる」という気持ちを強く持って、いろいろなことに挑戦し、成功に結び付けてください。



芒種(ぼうしゅ) 今年(今年は)は6月6日~6月20日

「芒」は稲穂や麦穂の先端を表し、「芒種」は「稲や麦など穂のなる穀物の種をまくころ」という意味です。また、「ホタルがあかりをともし、飛び交うころ」をさします。ホタルといえば、昔の人は、腐った草や竹の根がホタルに生まれ変わると信じたそうです。本校校区近隣の高山竹林園では、ホタルのために川の環境を整え、「人とホタルの共存」をめざしてホタルの飼育に取り組んでおられます。芒種を過ぎると、いよいよ夏至(げし)を迎え、夏の盛りへ近づきます。

※昇降口のメダカ水槽の横にホタルがいます。校内職員のご厚意でいただきました。※

保護者の皆さまへ

先日は、授業参観に多くの保護者の皆様にお越しいただき、誠にありがとうございました。また、3年生の修学旅行の際には、ご家庭のご協力をいただき、無事終えることができましたことに深く感謝申し上げます。1学期も折り返し地点を過ぎようとしています。ご家庭でも、お子様との対話の時間をできるだけ多く持っていただき、小さなことでもその努力している姿を認め、自信を持たせていただけますと幸いです。本校の教育活動が定着し、ひとりひとりの生徒が健やかに成長できますよう、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

